

日本精工株式会社との 「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」の契約締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、日本精工株式会社（取締役 代表執行役社長・CEO：市井 明俊、以下「NSK」）との間で、「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」（※1、以下「本商品」）に関する融資契約を締結しました。

本商品は、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社（取締役社長：吉原 昌利、以下「みずほリサーチ&テクノロジーズ」）が国内外で信頼性の高い人的資本に関する情報開示のガイドライン（IS030414、内閣府人的資本可視化指針等）を参考に、独自に開発した評価手法を用いて、企業の人的資本経営に関する可視化・開示と実践の取り組みをスコアリングし、一定のスコア以上を満たしたお客さまに対し、みずほ銀行が融資を行う商品です。また、みずほリサーチ&テクノロジーズによる定期的なモニタリングとフィードバックを行い、お客さまの人的資本経営の継続的な取り組みを支援していく商品です。

なお、評価手法を含む本商品のフレームワークについては、株式会社日本格付研究所（JCR）から環境省の「インパクトファイナンスの基本的考え方」に整合する旨の意見書を取得しています（※2）。

NSKグループは、経営姿勢で「社員一人ひとりの個性と可能性を尊重する」ことを明確にするとともに、従業員一人ひとりが企業の貴重な財産であると考えています。この考え方に基づき、『中期経営計画2026』では経営課題に「経営資源の強化」を掲げ、重要な施策の一つとして「人的資本の価値最大化」に取り組んでいます。「多様な人材が集まる会社」「多様な人材がスキル/能力を伸ばし成長できる会社」「安全で健全な職場」という3つの目指す姿の実現に向けて様々な施策を推進しています。

みずほ銀行およびみずほリサーチ&テクノロジーズは、NSKが以下の領域等における取り組みを開示していることを高く評価しています。

・育成領域：

経営人材の育成に注力していることを説明し、国内であれば係長・課長などそれぞれの階層で経営大学を実施することにより経営人材候補を継続的に輩出するキャリア開発プログラムを提供していること。

海外ではグローバルポストの後継者をメインの対象者としてグローバル経営大学を実施していること。また、いずれの取り組みについても実績を経年で示していること。

・健康・安全領域

NSK健康経営戦略マップ内で健康課題を特定し、健康投資と効果（取組状況に関する指標、従業員等の意識変容・行動変容に関する指標、最終的な目標指標）、健康経営で解決したい経営課題を関連づけて説明をしていること。また、効果に関するデータを各指標の項目にわけて開示していること。

〈みずほ〉は、各企業が中長期的な企業価値向上につながる人的資本経営を実践することが重要と考えています。ブランドスローガンである「ともに挑む。ともに実る。」のもと、本商品の提供を通じ、継続的なエンゲージメント（建設的な対話）を行うことで、お客さまの持続的成長、及び中長期的な企業価値の向上に貢献することを目指すとともに、国内における人的資本経営の取り組みの普及・促進に貢献していきます。

(※1) Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス

2023年5月30日付ニュースリリース「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」の取り扱い開始について

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20230530_2release_jp.pdf

(※2) 株式会社日本格付研究所のウェブサイト

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以 上